

フェニックスメディカルクリニックにて婦人科検診・外来 を受診されている方へ

当院では婦人科検診の精度向上を目的とした臨床研究を東京大学産婦人科学教室と共同で行っております。疾患の予防や早期発見に役立て、女性の健康支援に貢献するため、積極的に関わっていきたくと考えながら、日々の診療を行っています。

【研究課題】

婦人科検診に関する後方視的研究 【審査番号】11795

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 医療法人社団鳳凰会フェニックスメディカルクリニック
研究責任者 小泉郁子
担当業務 データ収集・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・産科婦人科学講座
研究責任者 産婦人科学講座主任教授 藤井知行
担当業務 データ解釈・考察

【研究期間】

承認後～ 2020年12月31日

【対象となる方】

2009年1月1日～2016年12月31日まで間にフェニックスメディカルクリニック婦人科で検診・外来を受診されたすべての方。

【研究の意義】

女性の健康を守るために婦人科検診の重要性が高いのは言うまでもなく、医学の分野における予防医学の重要性はますます増加しています。検診データの中には多くの情報が埋もれているはずですが、なかなか生かされていないのが現状です。検診のデータを整理し、見直し、そこから有意義な情報を見つけ出し、問題点、改善点、提案、などを導き出すことで、より質の高い検診が提供できると考えています。

【研究の目的】

婦人科検診の質を向上させるために情報を発信していくことは、婦人科疾患の予防あるいは早期発見に寄与し、女性の健康支援に役立つものと考えています。そのための情報を婦人科検診の現場から発信していくことを目指します。そのためにまず、検診で得られたデータを検討し、解析可能な形に整理すること、有意な解析項目を導くことを本

研究の目的とします。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、医療法人社団鳳凰会フェニックスメディカルクリニック院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療で健診カードやカルテに記録されている細胞診結果、精密検査結果などのデータを収集して行う研究です。特に受診者の方に新たにご負担いただくことはありません。

※東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科と共同研究を行っております。本研究において、解析後のデータ及びまとめに必要な情報などが、主にパスワードロックのかかったワードやエクセルファイルを電子メールにて東京大学医学部産婦人科学教室の研究者と共有します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたのデータは、解析する前に個人情報とは一切連結できないようにした上で、当院の研究責任者の居室にて研究用に準備したセキュリティ対策の施されたスタンドアローンのパソコンで厳重に保管します。

あなたの検診結果や精査の結果をもとにまとめた統計データは、東京大学医学部産婦人科学教室に送られ解析・保存されますが、送付前にすでに氏名を削り、どなたのものか分からないようにした上で、藤井知行(産婦人科学講座主任教授)が、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。

この研究のためにご自身やご家族のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2018年5月末日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で研究会や学会で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、フェニックスメディカルクリニックから支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。あなたへの謝金はございません。

(2018年3月)

<本研究に関する問合せ先>

所属：医療法人社団鳳凰会フェニックスメディカルクリニック

氏名：賀来 宗明 電話番号：03-3478-3535